

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピールームびよびよ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 15日		～ R8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R8年 1月 15日		～ R8年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園や児童発達支援等の児童福祉の経験豊富な職員が在籍しており、「自分でできることを増やしていく」「今後必要となる力をつけていく」こと等に重きを置いて支援できる。	地域移行を見据え、これまでの経験を活かし保育園や幼稚園で必要となるスキルの習得や大集団で課題となる点への重点的なアプローチを行っている。	積極的に研修に参加するなどして、さらなる支援力の向上と、知識の習得を目指していく。
2	同法人に放課後等デイサービス、生活介護があり継続して支援ができる。	放課後等デイサービスへ移行する際は、書面での情報共有のみならず、放課後等デイサービスの職員と移行プログラムを立案し、移行への見通しを立て、安心して移行できるよう支援している。	個々での施設見学だけでなく、保護者への放課後等デイサービス説明会や保護者同伴での体験会などの検討もしていきたい。
3	災害の影響を受けにくい立地、耐震性の高い建物で安心安全にサービス提供ができる。	災害発生時にはどのような被害が出るかを想定し避難訓練や災害対策の物品準備、保護者参加の引き渡し訓練等を行っている。また、災害時に安心安全に保護者の方に利用児を引き渡せるよう建物の耐震性を高めた設計になっている。	事業所の立地的には安全であっても、送迎ルートや利用児の自宅付近の安全も考慮した運営を継続して行いたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケア児の受け入れが難しい。	医療的ケアができる職員がいない。 医療的ケアをできる設備がない。	医療従事者が在籍していないため、医療的ケア児の受け入れは難しいが、医療的ケアが必要な児童の保護者からのお問い合わせがあった際は、正しい知識の基、利用できるサービスなどの情報提供や行政への引継ぎをしていきたい。
2	給食提供がなく、保護者の方の負担が大きい。	給食提供を担当できる人員がいない。	月1回の食育活動やクッキング等を充実させていく。 お弁当に関しては準備が難しい場合などは外注できる旨を案内していく。
3	野外活動のスペースが少ない。	敷地に屋外活動が十分にできるだけのスペースが確保できていないため。	同法人の外スペースの活用や近隣の公園へ行くことで屋外活動の機会を確保していく。